

文化遺産総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	葛城市	2 補助事業の種類	地域文化遺産活性化
3 実施計画の名称	葛城市地域活性化計画	【計画の改善時期】 平成30年度	
4 実施計画期間	平成 30 年度 ～ 平成 30 年度		
5 実施計画の概要			
・葛城市総合計画（平成18年策定）の基本構想等を踏まえ、地域の文化遺産・伝統文化の保全、次世代への継承・発展や、文化遺産を活用して地域活性化を推進するため、下記の取組を実施する。 実施計画期間中は下記の取組を通じて地域全体で文化遺産を保存・継承し、活用していくための体制の確立を目指す。また、それらを達成する一環として、葛城市勝根区に古くから受け継がれ、先人から引き継がれた伝統文化の一つである、「春日若宮神社秋の例大祭」に使用する山車（地車）の修理の事業を実施する。			
6 実施体制			
本事業については葛城市が、本実施計画に係る全体の企画・調整や、各補助事業に係る指導等を行う。 ・主な担当課、役割は次のとおり。 教育委員会教育総務課（歴史博物館）：各補助事業における文化財の取扱等に関する指導・調整等 また、補助事業は次の団体が実施する。 勝根秋の例大祭保存継承実行委員会 構成団体 ・（勝根区自治会、勝根自警団、勝根青年団、勝根若葉会、勝根子供会、葛城市教育委員会）			
7 実施計画における目標と期待される効果		別紙①のとおり	
8 補助事業の概要	(1) 補助金額	～平成29年度交付決定額： 36,474 千円	平成30年度申請額： 8,500 千円
(2) 実施事業の概要		別紙②のとおり	
9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）			
市民の地域の文化遺産に対する関心や意識が向上し、今後市民の力による地域の文化遺産の保存と、次世代への確実な継承とともに、地域の活性化が期待できる。また、行政と市民団体などによる連携・協力体制が構築されるとともに、『市の観光計画』で目標としている観光客の増加に寄与することができるほか、想定される効果として、① 葛城市勝根区など各地区に古くから伝わる民俗習俗の文化的価値の継承による、すそ野の拡大や、②地域の祭礼保存団体の連携。今まで交流の少なかった市内各地域への祭礼保存団体の連携拡大。さらに、③市内各地域への保存継承に対する啓蒙。などにより、住民への地域文化遺産の保護・継承意識を高めると共に充実させていくなどの効果がある。			
10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）			
事業概要：			
事業概要：			
事業概要：			
11 「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等			
本事業の実施により地域一体となって保存活用を図る機運を醸成し、地域に存在する文化財を、指定・未指定にかかわらず幅広く捉えて的確に把握し、文化財をその周辺環境まで含めて、総合的に保存活用する為に、平成35年度までに歴史文化基本構想の策定を目指す予定である。			
12 担当部局			
地方公共団体 担当部局課	教育委員会 教育総務課 （歴史博物館）		

7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分 1：	伝統文化の継承体制の維持・確立					
評価指標区分 1：	祭礼行事等の保存会会員数、保存団体数（具体的な指標は次のとおり）					
具体的な指標 1：	勝根区祭礼継承保存会の会員数			関連事業：	①	
目標値 1：	【現状値】 平成 29 年度 50 人 ⇒ 【目標値】 平成 30 年度 50 人					
設定根拠 1：	勝根地区の青年人口社会減の状況から、現状維持を設定					
進捗状況 1：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	平成 35 年度	
人	人	人	人	人	人	
目標区分 2：	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分 2：	地域の祭礼行事等への入込客数（具体的な指標は次のとおり）					
具体的な指標 2：	市内の保存団体が各地区の山車(地車)を出し、一所に集う、秋の祭礼連携事業開催場所における観光入込客数			関連事業：	①	
目標値 2：	【現状値】 平成 29 年度 1,500 人 ⇒ 【目標値】 平成 30 年度 1,500 人					
設定根拠 2：	開催会場における平成28・29年度の集客人数がほぼ満員に達しており、現状維持を設定。					
進捗状況 2：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	平成 35 年度	
人	人	人	人	人	人	

8 (2) 実施事業の概要 別紙

事業①： 勝根春日若宮神社秋の例大祭			実施団体： 勝根秋の例大祭保存継承実行委員会		
事業区分： 用具等整備		事業期間： 平成 30 年度 ～ 平成 30 年度			
事業概要：		①用具修理：秋祭に使用する山車（地車）が経年劣化で傷んでおり、行事使用の際、安全曳行に支障が出る為、修理を実施。②体験曳行：勝根区地車保存会が中心となり、地元の子供達に郷土に伝わる祭り囃子の継承に向けた秋祭の練習を始め、祭日に地元区の子供達に体験曳行を実施。			
評価指標区分：		・ 保存会会員数の変化（維持）		（具体的な指標は次のとおり）	
具体的な指標：		勝根地区の青年人口社会減の状況から、現状維持を設定			
目標値：		【現状値】 平成 29 年度 50 人 ⇒ 【目標値】 平成 30 年度 50 人			
進捗状況：		各年度、状況値、目標に対する達成率			
平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	平成 35 年度
人	人	人	人	人	人